Race Report

Super Taikyu 2016 Series
Round-2 / SPORTS LAND SUGO
(2016.5.14-15)

BRP★J' SRACING 2台のフィット3は激闘の3時間を クラス２位と６位のダブル入賞で終える。

BRP★J' SRACINGは2016年5月14日～15日にスポーツランド菅生で開催された「スーパー耐久シリーズ第２戦 スポーツランド菅生」の第２戦において、69号車がクラス２位を獲得し、19号車は電気系トラブルに見舞われながらも６位となりダブル入賞で終えました。

5月12日(木)フリー】天候：晴れ　　路面：DRY

今季のスーパー耐久もはやくも第２戦を迎えてレースウィークがスタートしました。BRP★J' SRACINGは4年連続シリーズチャンピオン獲得を目指してレースウィークの木曜日からテスト走行を開始しました。天気に恵まれて2台共にテストメニューを消化し順調なレースウィークをスタートしました。

【5月13日(金)公式フリー】天候：晴れ　　路面：DRY

昨日のテスト走行データをベースに更に、公式フリー走行の３本で明日から始まる予選･決勝レースに向けたセットアップを進めます。19号車はCドライバーに吉本選手起用して、新しいドライバーラインナップで挑みます。69号車は第1戦と同じドライバーライナップでの戦いとなりました。

【5月14日(土)公式予選】天候:晴れ　　路面:DRY

いよいよ公式予選が始まりました。第2戦は従来通りのレースウィークでは無く、土曜日の１日で予選と決勝レースを行う１DAYレースフォーマットなので、朝から非常に慌ただしい１日となります。
19号車はAドライバーの古宮選手がアタックを開始するが赤旗により予選が中断となり、残り5分と厳しい時間の中でアタックを再開しますが、タイミングを計れず1’41.782でクラス12番手となり、続くBドライバーの松田選手も果敢にアタックをし、1’40.232を叩き出し、クラス5番手を獲得、合算で予選クラス10番手と後方からのスタートとなりました。新しく起用した吉本選手はCドライバー予選で1’41.141を記録し、4番手タイムをマークして十分な実力を発揮しました。
69号車はAドライバーの大野選手からアタックを開始し、1’39.617の好タイムを叩き出しクラス3番手を獲得し、続くBドライバー梅本選手も1’39.988でクラス4番手となり、合算で予選3番手を獲得しました。

【第2戦スポーツランド菅生ST5クラス予選結果】

（１９号車）

Aドライバー:古宮 正信	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’41.782	クラス１２位
Bドライバー:松田 智也	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’40.232	クラス５位
Cドライバー:吉本 昌哉	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’41.141	クラス４位

（６９号車）

Aドライバー:大野 尊久	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’39.617	クラス３位
Bドライバー:梅本 淳一	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’39.988	クラス４位
Cドライバー:窪田 俊浩	コース:ドライ	タイヤ:スリック	1’39.740	クラス１位

１位	No.88	村上モータースMAZDAロードスターND	3’18.064	
２位	No.92	ホンダカーズ桶川･VBOX･セキショウ Fit	3’19.144	
３位	No.69	BRP★J’SRACINGホンダカーズ浜松北フィット	3’19.605	
４位	No.4	THE BRIDE FIT	3’19.915	
５位	No.63	MV SUPPORT☆SEEKER☆STA･Fit	3’20.734	
６位	No.11	隅元建設×BSR WM☆Vitz	3’21.174	
７位	No.2	ホンダカーズ野崎with CUSCO&BOMEX FIT	3’21.820	
８位	No.17	DXLアラゴスタNOPROデミオSKY-D	3’21.951	
９位	NO.66	odula MAZDA デミオ15MB	3’21.983	
１０位	No.19	BRP★J’SRACINGホンダカーズ三重北フィット	3’22.014	
１１位	No.46	DIJONエンドレスワコーズNILZZ FIT	3’22.542	
１２位	No.213	WAKO’S APP 菅野自動車 Vitz	3’23.580	
１３位	No.71	ピースMS NUTEC制動屋FitRS	3’23.985	
	No.37	ワコーズDXLアラゴスタNOPROデミオ	3’24.900	予選不通過
	No.33	TOITEC Racing WAKO’S μ VITZ	計測無し	

【5月14日(土)決勝】天候:晴れ　　路面:DRY

予選が終了して間もなく、慌ただしく決勝レースのスタートを迎えました。第2戦菅生は１DAYレースと共に、レース自体が2グループに分かれており、ST4クラスとST5クラスの2クラスでの決勝レースとなり、台数はいつもの半分程度となりますが、車両の性能差が均衡しているクラスの為に、コース各所で難しいレース展開が予想されました。
スタート直後からレースは膠着状態となったままレースは進行していきます。19号車はスタートドライバーの吉本選手が奮闘し、ロングランで周回を重ねて、古宮選手にドライバーチェンジをしました。
19号車は吉本選手のスタート直後から電気系トラブルによりエンジンパワーが低下する症状に見舞われて厳しいレース展開を続けていましたが、古宮選手からチェッカードライバーの松田選手に替わるタイミングからレース戦略を変更して、それが功を奏し６位入賞でチェッカーを受ける事ができました。
69号車もスタートから安定して3位前後を走行して、順調にレースを周回し、最後のピットストップで2位に躍り出てそのままチェッカーを受けて、19号車･69号車共に入賞を獲得する事ができました

【第2戦スポーツランド菅生ST5クラス決勝レース結果】

１位	No.88	村上モータースMAZDAロードスターND	(106)	3:01' 30.474
２位	No.69	BRP★J' SRACINGホンダカーズ浜松北フィット	(105)	3:01' 01.403
３位	No.92	ホンダカーズ桶川･VBOX･セキショウ Fit	(105)	3:01' 27.475
４位	No.37	ワコーズDXLアラゴスタNOPROデミオ	(105)	3:01' 58.813
５位	No.17	DXLアラゴスタNOPROデミオSKY-D	(105)	3:02' 24.962
６位	No.19	BRP★J' SRACINGホンダカーズ三重北フィット	(104)	3:00' 52.887
７位	No.213	WAKO' S APP 菅野自動車 Vitz	(104)	3:00' 53.740
８位	No.71	ピースMS NUTEC制動屋FitRS	(104)	3:01' 33.756
９位	No.46	DIJONエンドレスワコーズNILZZ FIT	(104)	3:01' 54.273
１０位	No.63	MV SUPPORT☆SEEKER☆STA･Fit	(104)	3:02' 06.061
１１位	No.2	ホンダカーズ野崎with CUSCO&BOMEX FIT	(104)	3:06' 24.593
１２位	N0.66	odula MAZDA デミオ15MB	(103)	3:01' 08.136
リタイア	No.4	THE BRIDE FIT	(78)	2:13' 19.700
リタイア	No.11	隅元建設×BSR WM☆Vitz	(66)	1:55' 52.649
リタイア	No.33	TOITEC Racing WAKO' S μ VITZ	(出走無し)	

【コメント】

今季からST5クラスは16台以上のエントリーがあり、レベルも高く過去に例が無いほどの激戦を極めており、非常に難しい戦いを行っております。19号車には新加入の吉本選手を起用して、シリーズランキング争いの巻き返しを図りましたが、第1戦につづき車両トラブルにより本来のパフォーマンスを発揮する事ができませんでした。次戦はホームコース鈴鹿となりますので、今まで以上に気を引き締めてしっかりと戦っていきたいと思います。第2戦より私はST5クラスのドライバーとしての一線から退きチームマネージメントに専念することができておりますので、今まで以上にチーム体制の強化を図り、車両・ドライバー・チームの３つの要素の更なるレベルアップと連携強化を進めてまいりますので、引き続きのご支援・ご声援の程何卒よろしくお願い致します。

BRP代表 奥村浩一

ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2016. 5.14-15

BIRTH RACING PROJECT

■2016 年 BRP スーパー耐久プロジェクトパートナー

順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com

BIRTH RACING PROJECT

www.brp.gr.com